

研修会報告

平成 27 年 4 月 26 日

文責：細胞診部門長 大崎市民病院 臨床検査部 戸村弘樹

研修会テーマ「平成 26 年度細胞診部門精度管理フォローアップ研修会」

開催日時 平成 27 年 4 月 26 日（日）14：00～17：30

会場 東北大学病院 病理部 討論室

講演・講師

1) 平成 26 年度細胞診部門精度管理調査報告

東北薬科大学病院 病理部 早坂裕美

2) 平成 26 年度宮臨技精度管理調査・尿検体処理方法アンケート結果報告

東北薬科大学病院 病理部 早坂裕美

3) 設問別解説・参考調査解説

各設問出題者 5 名

生涯教育点数 専門 20 点

参加者 会員参加者 15 名 非会員 2 名 実務委員 4 名 計 21 名

内容

今回も例年通り平成 26 年度に行われた宮城県臨床検査技師会細胞診部門精度管理調査のフォローアップ研修会を開催した。

講演 1 では、平成 26 年度細胞診部門精度管理調査報告として東北薬科大学病院 病理部 早坂裕美精度管理委員より、報告会では時間の都合上報告出来なかった詳細な内容まで報告された。

講演 2 では、平成 26 年度宮臨技精度管理調査と共に行われた尿検体処理方法アンケート結果の報告と解析結果が報告された。宮城県内での尿細胞診検体の処理方法の現状が良く分かり、各施設尿細胞診陽性率を上げるため努力していることが報告された。

講演 3 では、各設問別に出題者より、出題意図と解説が行われた。設問は概ね回答率も良く問題のない設問であったと思われるが、感染症の設問において、×100 の写真も欲しかった、また、施設によっては消化器領域の細胞診を見ることがないので、難しかったなどの意見が出され、今後の検討内容としたい。

今回初めて参考調査として、尿細胞診 2 問を出題したが、結果として非常に難しい内容になってしまった。参考調査だとしても、報告書に不正解と記載されるのはいかかなものかという意見が出たので、次年度は参考調査のやり方を含めて検討したい。

精度管理調査は、県内の各施設の現状を知る上で非常に有用な事業である。また、誤ったやり方を正し、より精度の高い検査を目指していく上で非常に良い勉強材料である。調査だけでなく、県内の技師で勉強し合えるこのような研修会を次年度も続けていきたい。